

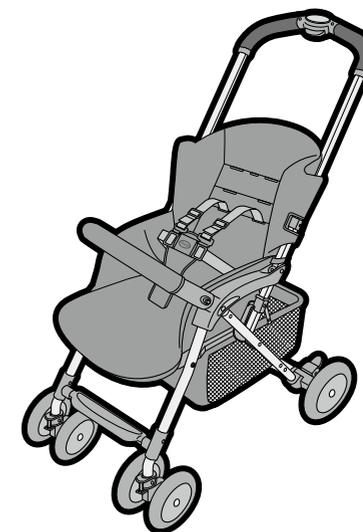
施設用ベビーカー

取扱説明書 点検マニュアル/保証書

この製品は生後1カ月^{*}～48カ月(体重約20kg)までの乳幼児1人用ベビーカーです。

^{*}ここでいう生後1カ月とは、在胎週数37週以上で、かつ出生時の体重が2.5kg以上を満たし、1カ月を経過した乳児をいいます。この条件を満たさないお子さまへの本製品のご使用については医師にご相談ください。

ご使用前に、取扱説明書(本書)をよくお読みの上正しくお使いください。
お読みになった後は、本書はいつも取り出せる場所に必ず保管してください。
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。



〈製品仕様〉

耐用年数 (目安)	3年 [*] 耐用年数はあくまでも目安です。 使用頻度、保管状況により異なります。
--------------	---

製品寸法 (mm)	使用時/W:540×D:870×H:1035
	折りたたみ時/W:540×D:470×H:1080

目次

はじめに 1

ご使用前に(施設のかたへ).....	1
本書の表示について	
ご使用上の注意.....	2~4
警告/注意	
各部の名称.....	5
製品の特徴	

ベビーカーの使用法 6

ベビーカーの開き方.....	6
キャスターの使い方.....	7
ストッパーの使い方.....	7
ベビーカーの折りたたみ方.....	8
お子さまの乗せ方.....	9
肩ベルトの高さ調節.....	11
リクライニングの角度調節.....	12

日除けの使い方(オプション).....	13
足のせの使い方.....	14
カゴの使い方.....	14

縫製品の取り外し方 15

フロントガードカバーの取り外し方.....	15
カゴの取り外し方.....	15
シートの取り外し方.....	16

その他 18

車体のお手入れ.....	18
困った時に.....	19
保証とアフターサービスについて.....	20
アフターサービスについての連絡先.....	20
保管について/廃棄について.....	20
点検マニュアル.....	21
保証書.....	22

・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
・製品の品質向上のため予告なしに一部仕様変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
ベビー用品 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

はじめに

ご使用前に (施設のかたへ)

・本製品は、施設内で買い物などをされる際にお子さまを乗せていただくための乳幼児1人用ベビーカーです。それ以外の目的で使用、貸し出ししないでください。

・本製品は、生後1カ月※～48カ月(体重約20kg)までの乳幼児1人用ベビーカーです。生後1カ月に満たない、または、48カ月を超えるお子さまにはご使用になれません。貸し出しの際には、お客様にお子さまの年齢を確認してください。

※ここでいう生後1カ月とは、在胎週数37週以上で、かつ出生時の体重が2.5kg以上を満たし、1カ月を経過した乳児をいいます。この条件を満たさないお子さまへの本製品のご使用については医師にご相談ください。

・本製品は、不特定多数の方が使用されますので、貸し出し前、返却時に点検を行ってください。(P21「点検マニュアル」参照)

本書の表示について

・「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

禁止図記号	表示の意味
	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。

 70147	製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。
--	------------------------

ご使用上の注意

・思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お子さまが落ちるおそれがあります。



シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)を外して使用しない。



ベビーカーの中でお子さまを立たせない。

坂道などでベビーカーが勝手に走行、転倒するおそれがあります。



お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右共ロックし、ベビーカーが動かないことを確認する。



お子さまや荷物をのせた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対に動かないようにできるものではありません。



お子さまを乗せたままベビーカーを離れない。

お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。



シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。

路面の溝にベビーカーの車輪がはまり、前のめりになるなどしてバランスがくずれベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。



排水溝の格子状のふた(グレーチング)や踏切など、幅の広い溝がある路面を通過する必要がある時は、溝に車輪がはまる場合があるので、注意しながらゆっくり押すこと。



車輪がはまった時は、前フレーム(パイプ)とハンドルを持って、はまった車輪を引き上げてください。その際はベビーカー全体を持ち上げないでください。

バランスを崩したり、足が見えなくて転倒するおそれがあります。



お子さまを乗せたまま持ち上げない。

〈次ページに続く〉

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが転倒するおそれがあります。

二人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。



階段やエスカレーターなど大きな段差のあるところで使用しない。



ベビーカーが後方転倒するおそれがあります。

カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドルにつるしたりしない。また、ハンドルによりかかたりしない。



お子さまの首にベルトが巻き付き窒息するおそれがあります。

肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込み、フリーにさせないこと。またお子さまの体格に合わせて調節すること。



可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。

開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。

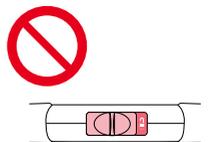


ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

お子さまを乗せる前に左右の開閉ロックが完全に下まで降りている事を確認する。



必ずセーフティロックをかけた上で使用する。



路面の影響も加わって、ベビーカー内の温度が高くなるおそれがあります。

気温が高い時や日差しが強い時は、長時間使用しない。



ベビーカーが破損し、ベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。

ハンドルに過度の荷重をかけない。



フロントガードを閉じる時は、お子さまの指や手足を挟まないように注意すること。



警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

- ・お子さまにベビーカーを操作させない。
- ・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。ベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。
- ・弊社サービス員以外は分解・組立・改造をしない。

- ・シートを外した状態で使用しない。
- ・急激に力を加えたり、落下、投げ投げなどによる強い衝撃が加わった後に使用しない。
- ・お子さまの遊び道具として使用しない。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ・必ず定期的に点検とメンテナンスを行ってください。
- ・ご使用前に、ベビーカー本体とシート、日除け(オプション)が正しく取り付けられていることを確認してください。
- ・可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはシリコン滑走剤をご使用ください。
- ・長期間ご使用されていなかったベビーカーを再度ご使用になる場合には、必ず点検とメンテナンスを行ってください。
- ・空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。
- ・ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。
- ・2台のベビーカーを連結して使用しない。
- ・前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。
- ・ベビーカーにお子さまを乗せて走行するときは、お子さまのために普通の歩き方(時速約4キロメートル位の速さ)で押す。
- ・ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。砂などが入り車輪やキャスターがスムーズに回らなくなる原因となります。
- ・フレームに砂や泥の汚れをつけたままで使用しない。スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。
- ・ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的とした市販のボードなどは取り付けないでください。破損の原因となります。
- ・カゴに重量2.5kg以上の荷物を入れない。

- ・保護者、介添者などが、ベビーカーに腰掛けない。
- ・荷物などの運搬のために使用しない。
- ・その他、お子さまを乗せる以外の目的で使用しない。
- ・バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- ・電車の中で使用について。本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、充分注意してご使用ください。
- ・雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。
- ・風の強い時は使用しない。
- ・雷の時は使用しない。
- ・室内、火気の近く、高温になる場所ではレインカバーなどを使用しないでください。ベビーカー内部の温度が高くなりすぎるおそれがあります。
- ・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しない。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- ・その他、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

・段差を無理に乗り越えようとししないでください。破損や故障の原因となります。

〈段差の乗り越え方〉

ハンドルを押し下げ、同時にアームレスト部を引き上げて乗り越えてください。



各部の名称

- ・製品を箱から取り出した時は、付属品が揃っているか、製品に破損がないかを確認してください。
- ・欠品や破損の際は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P20参照)
- ・ご使用前に、P22「保証書」に必要事項をご記入ください。



《製品の特徴》

- ・フレームには軽量なアルミパイプを使用しています。
- ・前後折りたたみ方式です。
- ・前輪はキャスター付です。
- ・ハンドルは背面側固定式です。
- ・車体を折りたたんだ状態で自立します。

ベビーカーの開き方



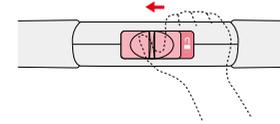
警告

・お子さまが接触した状態ではベビーカーを開閉しない。
可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがを
おそれがあります。



お願い

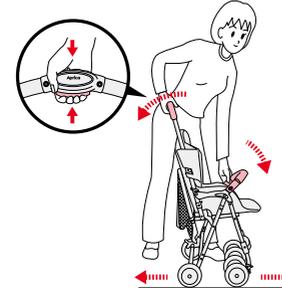
・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。



①セーフティロックを解除します。



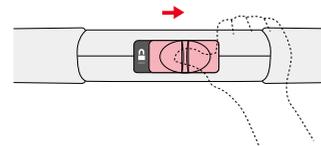
②ハンドルを軽く下に押し付けながらハンドルレバーを握って押し込み、ロックを解除します。



③ハンドルレバーを握ったまま、もう一方の手でフロントガードを持ちます。



④ベビーカーを開きます。



⑤セーフティロックをかけます。



警告

・開閉ロックが完全にかからない時やセーフティロックがかからない時はもう一度、②から操作を行ってください。
・ご使用時は開閉ロックが完全に下まで降りていることを確認すること。ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。



開閉ロックした状態

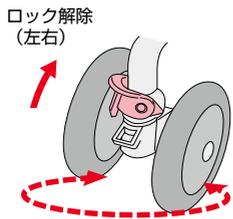


ロックしていない状態

キャスターの使い方

〈キャスターをロック解除する場合〉

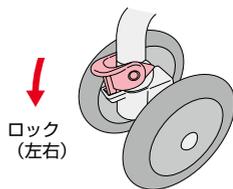
・通常はこの状態でご使用ください。



- キャスターロックレバーを下げ、ロック解除する。(左右)

〈キャスターをロックする場合〉

・凸凹道、坂道、傾斜地などの走行には一時的にキャスターを左右共ロックすると押しやすくなります。



- キャスターロックレバーを上げ、ロックする。(左右)

ストッパーの使い方

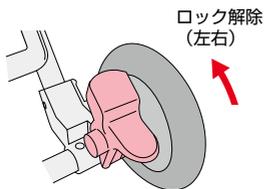
警告

・お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右共ロックすること。
・お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようにできるものではありません。
・ストッパーをロックしていても、お子さまを乗せたままベビーカーから離れない。

注意

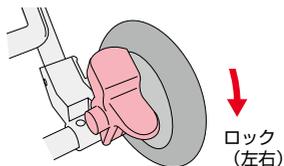
・お子さまを乗せていない時でも、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーを左右共ロックしてください。

〈ストッパーをロック解除する場合〉



- 車輪のストッパーを上げ、ロック解除する。(左右)

〈ストッパーをロックする場合〉



- ①車輪のストッパーを下げ、ロックする。(左右)
- ②前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認する。

注意

・ストッパーを手でロック解除する場合は、矢印の部分で指を挟まないようにご注意ください。

ベビーカーの折りたたみ方

警告

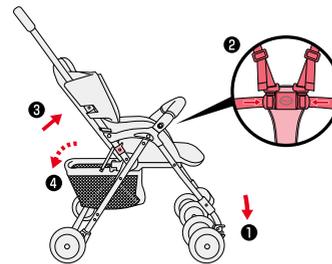
・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
・お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

注意

・肩ベルト、腰ベルトを股バックルに差し込んでからベビーカーを折りたたむこと。バックルが破損するおそれがあります。

お願い

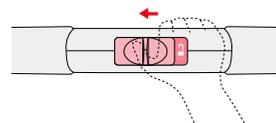
・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。



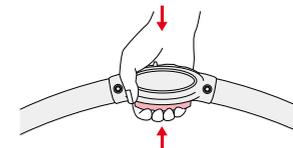
〈折りたたむ前に〉

- ①左右のキャスターをロックします。
- ②肩ベルトを腰ベルトに差し込み、腰ベルトを股ベルトのバックルに差し込みます。
- ③リクライニングを起こします。
- ④カゴから荷物を取り出します。

〈ロックの解除〉

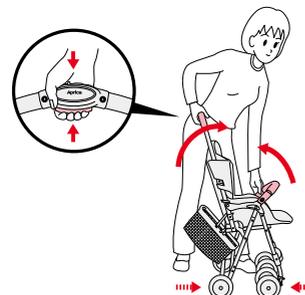


- ①セーフティロックを解除します。

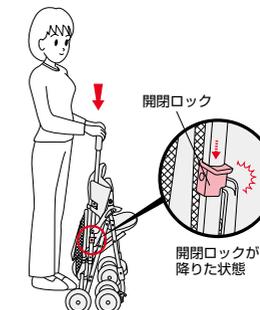


- ②ハンドルレバーを握って押し込み、ロックを解除します。

〈ベビーカーを折りたたむ〉

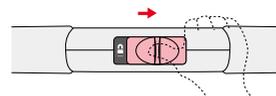


- ①ハンドルレバーを握ったまま、もう一方の手でフロントガードを持ち、引きよせます。



- ②ハンドルを下に押しつけてロックします。

〈セーフティロックをかける〉



- セーフティロックをかけます。

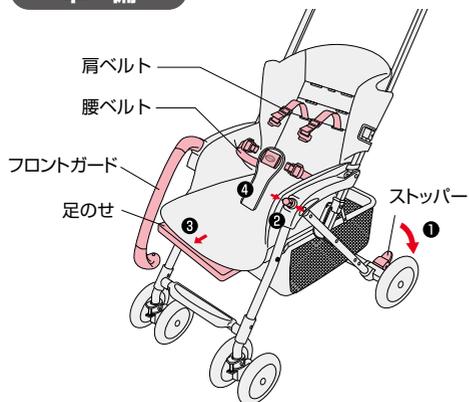
お子さまの乗せ方



警告

- ・肩ベルト、腰ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。
- ・肩ベルト、腰ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。
- ・フロントガードを閉じる時にお子さまの指を挟まないよう注意すること。
- ・フロントガードを装着した後、確実にロックされているか引っ張り、確認する。
- ・お子さまを乗せたまま、フロントガードを持ち上げない。
- ・腰ベルトの末端の出しろ(⇔部分)は必ず3cm以上残す。
- ・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。

準備

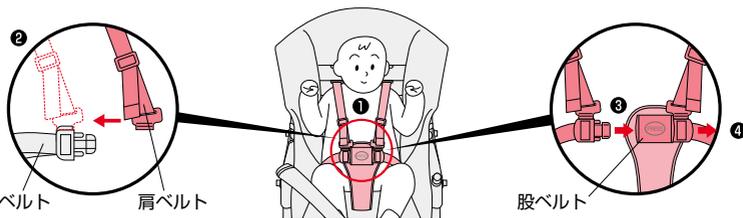


- ① ストッパーをロックする。(左右)
- ② フロントガードを開く。
・内外のロックボタンを押して開く。
- ③ 足のせを引き出す。
(座席の延長として足のせを使う場合のみ)
- ④ 肩ベルト・腰ベルトを外す。
・股ベルトの「PRESS」部を押して腰ベルト、肩ベルトを外す。

(リクライニングの角度調節 P12参照)

乗せ方

＜肩ベルト・腰ベルトをとめる＞



- ① お子さまを乗せる。
- ② 肩ベルトを腰ベルトに差し込む。
- ③ 腰ベルトを股ベルトのバックルに差し込む。 ※肩ベルトと腰ベルトの長さは、お子さまの体格と姿勢に合わせて調節してください。(P10参照)
- ④ 左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。



警告

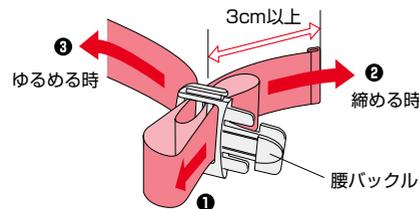
- ・シートベルトを締めた後は、左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ち、けがをするおそれがあります。
- ・肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込んで使用し、フリーにさせないこと。肩ベルトがお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
- ・シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。ベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。



注意

- ・腰ベルトをバックルに差し込んだ状態で片方の腰ベルトだけを強く引っ張らない。
- ・お子さまをベビーカーに乗せていない時も、腰ベルトをバックルに差し込んでおく。

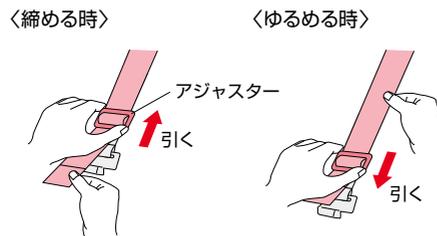
＜腰ベルトの調節＞



- ① 調節する分の長さを引き出し、締める時は②の方向に引く。ゆるめる時は③の方向に引く。

- 腰ベルトの長さは腰ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。

＜肩ベルトの調節＞



- アジャスターを引き調節する。

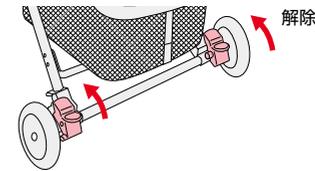
- 肩ベルトの長さは肩ベルトとお子さまの間に大人の指が1本入る程度まで締める。

＜フロントガードを閉じる＞



- フロントガードを閉じる。

＜ストッパーを解除する＞



- ベビーカーを押すときには、後輪のストッパーを左右共解除する。

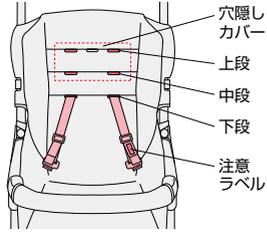
肩ベルトの高さ調節

注意 ・お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。

・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。

＜肩ベルト位置の目安＞

・肩ベルトの位置は3段階に調節できます。

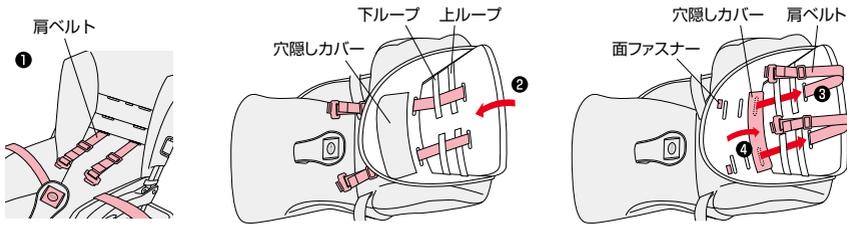


月齢（体格）の目安	肩ベルト通し穴の位置
24カ月～48カ月	上 段
6カ月～30カ月	中 段
1カ月～7カ月	下 段

※上記表示は目安であり個人差があります。

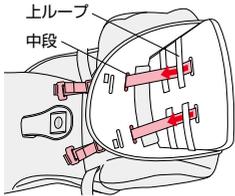
アドバイス ・肩ベルトは注意ラベル側を表にして使用してください。
・肩ベルトがねじれていないか確認してください。

中・上段を使用する時

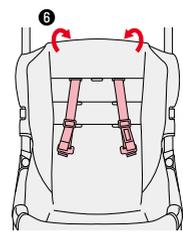
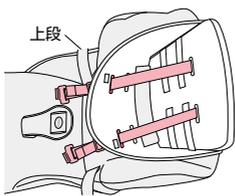


- ①肩ベルト・腰ベルトを外す。(P9参照)
- ②背面ホックを外しシートをめくる。
- ③肩ベルトをシート内側へ引き抜く。
- ④穴隠しカバーの面ファスナーを外し、おろす。

⑤-① 中段を使用する時



⑤-② 上段を使用する時



- ⑤-①中段を使用する時は、上ループに通し、シート穴(中段)に通す。
- ⑤-②上段を使用する時は、そのままシート穴(上段)に通す。
- ⑥ホックをとめる。

下段を使用する時

・穴隠しカバーを上げて、面ファスナーでとめる。
・肩ベルトを下ループに通し、シート穴(下段)に通す。

リクライニングの角度調節

- ・リクライニングの角度調節機能は、お子さまの姿勢を快適に保つことをサポートします。
- ・一番倒した状態では、お子さまが乗って平らになるように設計されています。
- ・背もたれを一番倒した状態にすると、ヘッドレストが起き上がります。

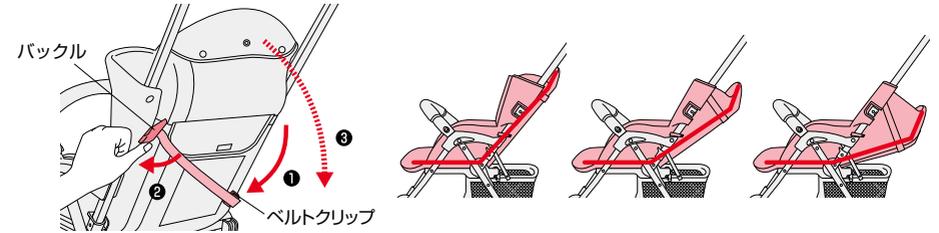
＜リクライニング位置の目安＞

月齢（体格）の目安	リクライニングの位置
1カ月～首がすわるまで	一番倒した状態
首がすわってから、ひとり座りできるまで	一番倒した状態～中間位置
ひとり座りできてから	一番倒した状態～一番起こした状態

※上記表示は目安であり個人差があります。

倒す時

- ・お子さまを乗せた状態で背もたれを倒す時は、肩ベルトをゆるめてから行う。(P10参照)
- ・リクライニングを調節する時は、お子さまの体を支える。



- ①ベルトクリップを外す。
- ②バックルを起こし、
- ③背もたれを倒す。

・リクライニング調節後、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。(P10参照)

警告

・お子さまを乗せた状態で背もたれを倒す時は肩ベルトをゆるめてから行う。
・リクライニングの調節後は、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。肩ベルトや腰ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。

注意

・ベビーカーを押しながらリクライニングの調節をしない。
・お子さまを乗せたままリクライニング調節をする時は、お子さまの体重を支え、急に角度が変わらないように注意する。
・ひとり座りができないお子さまは、背もたれを倒して使用する。

起こす時



- ①お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングベルトを引く。

- ②余ったベルトをクリップでとめる。

アドバイス ・お子さまの体重を背もたれにかけた状態では、起こすことができません。

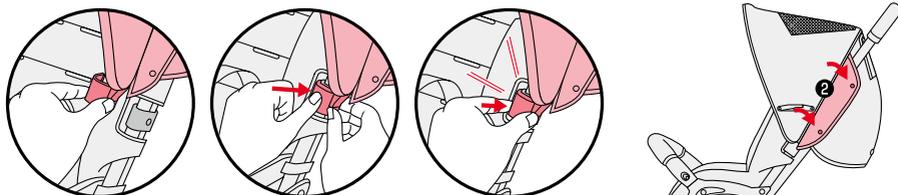
日除けの使い方 〈オプション〉



警告

・日除けを開いたり折りたたんだりする時は、お子さまが接触した状態で行わない。
可動部でお子さまの指や手を挟むおそれがあります。

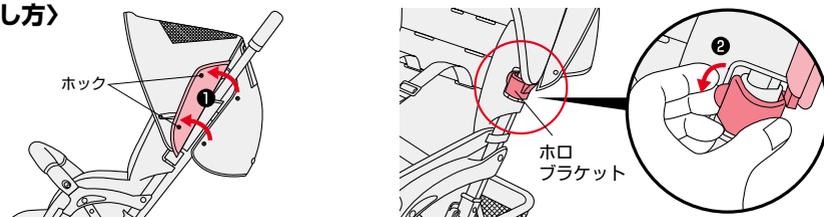
〈取り付け方〉



①生地を挟み込まないように注意し、日除けの取り付け位置を合わせて「カチッ」と音がするまで押し込む。(左右)

②日除け横側のフックをとめる。(左右)

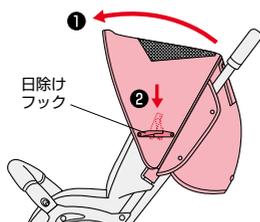
〈取り外し方〉



①日除け横側のフックを外す。(左右)

②矢印の部分を手前に引き、ホロボラケットを取り外す。(左右)

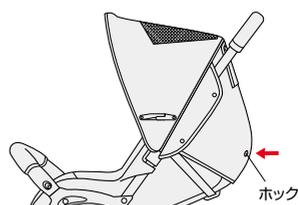
〈開き方〉



①日除けを前方に開く。

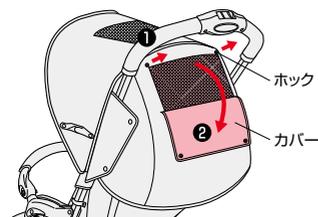
②日除けフックを押し下げてロックする。(左右)

〈リクライニングを倒した時〉



●日除け後部のフックをシートにとめる。

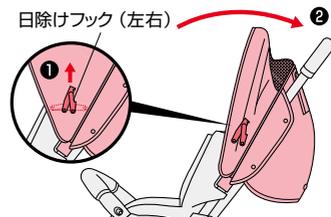
〈ウィンドウの開き方〉



①フックを外す。(左右)

②カバーをめくる。

〈閉じ方〉

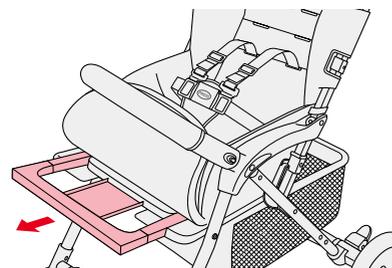


①日除けフックを折りたたむ。(左右)

②日除けを閉じる。

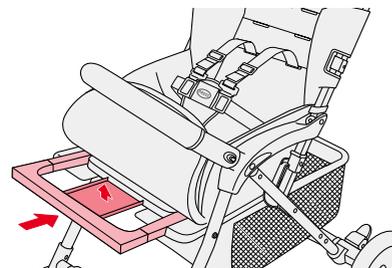
足のせの使い方

〈引き出し方〉



●シート下側の足のせを座席から引き出す。

〈戻し方〉



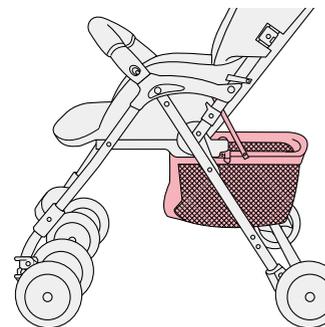
●足のせの中心部を上げ、座席に押し込む。

カゴの使い方



警告

・カゴには鋭利な形状をした物を入れない。カゴが損傷することがあります。
・重量2.5kg以上の荷物を入れない。
・ベビーカーを折りたたむ時は荷物を取り出す。
・カゴには貴重品などを入れない。
・カゴを取り外して使用しない。



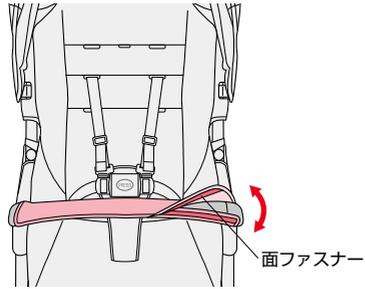
●カゴの上部から、荷物の出し入れをします。



・荷物はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように載せてください。

縫製品の取り外し方

フロントガードカバーの取り外し方

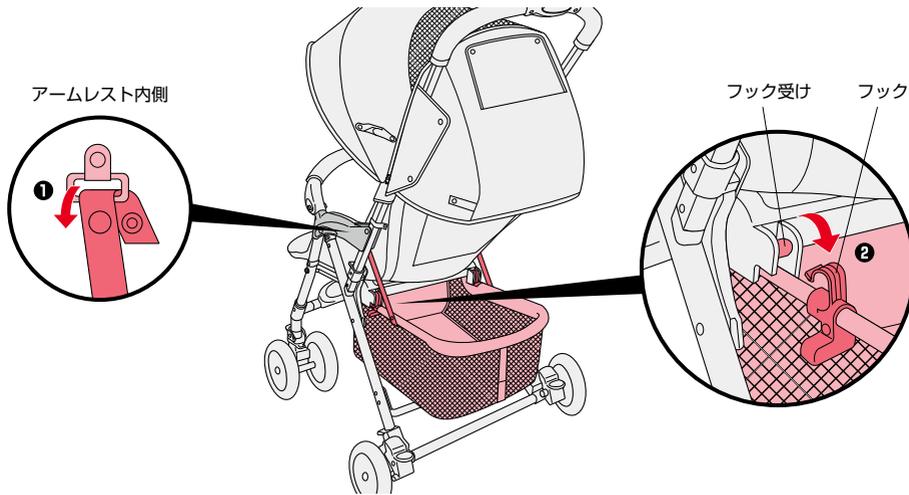


●フロントガードカバーの面ファスナーを外す。

面ファスナー

カゴの取り外し方

警告 ・カゴに荷物を入れたまま取り外さないでください。



アームレスト内側

フック受け フック

①アームレスト内側のフックを外し、ベルトフックから抜く。

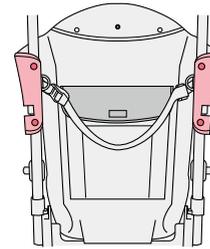
②フックをフック受けから取り外す。

※取り付けは逆の手順で行ってください。

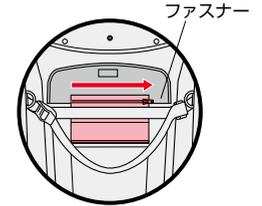
シートの取り外し方

・日除けを取り外してから行ってください。(P13参照)

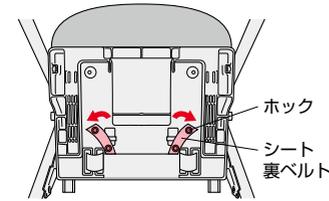
〈シートを外す〉



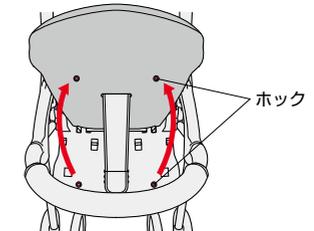
①フックを外してフックを上にはく。(左右)



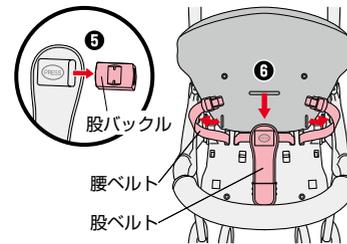
②取扱説明書収納ポケットカバーの面ファスナーを外し、ファスナーを開く。



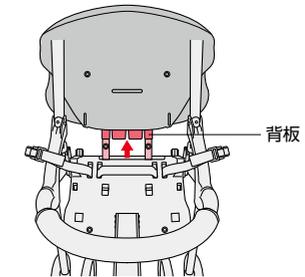
③シート裏ベルトのフックを外し、座面から抜く。(左右)



④座面のフックを外す。(左右)



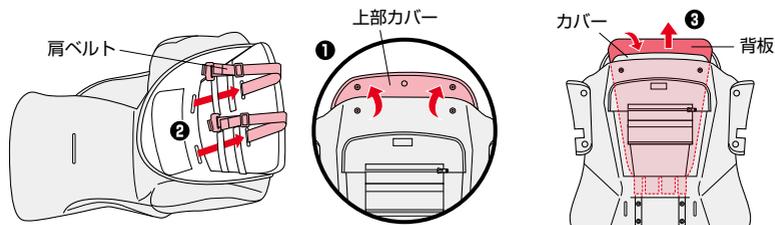
⑤肩・腰ベルトを外し、股バックルのフックを外す。
⑥腰ベルトと股ベルトをシートから抜く。



⑦背板を座面から抜き取り、シートを外す。

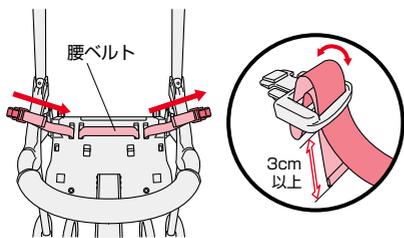
注意 ・バックルを紛失しないようにご注意ください。

〈背板を抜き取る〉



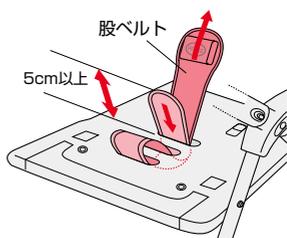
- ① シート裏側の上部カバーのフックを外す。
- ② 上部カバーをめくり、肩ベルトをシート裏側に抜く。
- ③ カバーをめくり、背板を抜き取る。

〈腰ベルトを外す〉



- ① 腰ベルトを座面から抜き取る。
- ② 腰ベルトのバックルを取り外す。
・腰ベルトのバックルを取り付ける時は、必ず3cm以上残してください。

〈股ベルトを外す〉

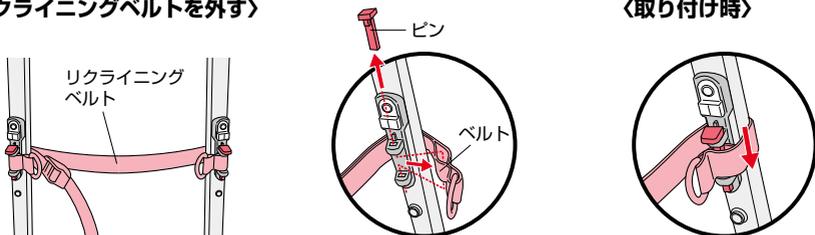


- ① 股ベルトを座面から抜き取る。
・股ベルトを取り付ける時は、必ず5cm以上残してください。

- 注意**
- ・腰ベルトの末端の出しろ(⇔部分)は必ず3cm以上残す。
 - ・股ベルトの末端の出しろ(⇔部分)は必ず5cm以上残す。

※取り付けは逆の手順で行ってください。

〈リクライニングベルトを外す〉



- ① ピンを抜き、ベルトを外してからピンを差し込む。(左右)
- ・取り付け時はピンを抜き、ベルトを巻き付け、ピンを差し込みます。

- 注意**
- ・ピンを紛失しないようご注意ください。

お手入れ

車体のお手入れ

〈フレームや車輪のお手入れについて〉

- ・フレームや車輪についた砂や泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

- 注意**
- ・フレームや車輪に砂や泥、ホコリが付いたままで使用しないでください。スライド部に砂などが入り、開閉できなくなります。
 - ・泥、ホコリなどの拭き取りには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤は使用しないでください。

- ・車輪は消耗品です。車輪交換が必要な場合は弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。(車輪交換は有償)

〈ネジ・ナット類について〉

- ・ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検の上、ゆるみが生じた場合は弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P20参照)

〈フロントガードについて〉

- ・フロントガードの差し込み部についたホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。



- 注意**
- ・破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず弊社サービス員の点検、修理を受ける。

〈注油について〉

- ・可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはシリコン滑走剤を使用ください。
- ・注油の前には、泥やほこりを落とし、十分に水分を拭き取ってください。
- ・注油は、1カ所につき2~3滴程度としてください。

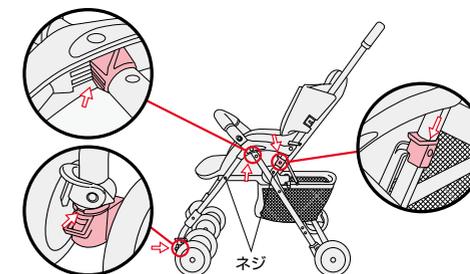
- 注意**
- ・お子さまがなめる可能性のあるアームレストやフロントガードなどにシリコン滑走剤が付着しないようご注意ください。
 - ・フロントガードとアームレストの接続部付近及び内部には、シリコン滑走剤などを付着させないでください。フロントガードが外れるおそれがあります。



- ・車体がスムーズに開閉しない場合や、キャスターがスムーズに回転しない場合、車輪や車体がきしむ場合は、シリコン滑走剤を図の⇔の箇所にし、開閉操作を2~3回行います。(開閉の場合のみ)

〈縫製品のお手入れ〉

- ・縫製品が汚れた場合は、よく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。
- ・縫製品は消耗品です。破れ、すり切れ、ほつれなどがある場合は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。(縫製品交換は有償)



※キャスターへの注油は、キャスターを回転させ90度ごとに上図の隙間から注油してください。(縫製品交換は有償)

困った時に

・下記の対処方法で解決しない場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P17参照)

〈ご使用前に困った時〉

お気づきの点	対処方法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある時は	弊社お客様サポートセンターに連絡してください。(P20参照)

〈ご使用中に困った時〉

お気づきの点	対処方法
ハンドルレバーを握って押し込めない時は	セーフティロックを解除してから行ってください。 (P6「ベビーカーの開き方」参照)
キャスターが回転しない時は	キャスターロックを左右共解除してください。 (P7「キャスターの使い方」参照)
	キャスターに潤滑油をさしてください。 (P18「注油について」参照)
ストッパーがきかない時は	ベビーカーを少し前進させてからストッパーをロックしてください。 ストッパー部に石などが挟まっていないか確認してください。
リクライニングが起こせない時は	お子さまの体重がかかっていないことを確認し、リクライニングベルトを引いてください。(P12「リクライニングの角度調節」参照)
腰ベルトの取り付けができない時は	股ベルトの内側にバックルが取り付けられていることを確認してください。 (P9「肩ベルト・腰ベルトをとめる」参照) 紛失した場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。 (P20参照)
フロントガードが差し込めない時は	フロントガード差し込み部にホコリなどが付着していないか確認してください。付着している場合は、よく絞ったぬれタオルなどで拭き取ってください。(P18「フロントガードについて」参照)
肩ベルトが腰ベルトに差し込めない時は	衣類などの生地やシートベルトが挟まっていないか確認してください。
ベビーカーが折りたためない時は	〈折りたたむ前に〉、〈ロックの解除〉を行ってから折りたたんでください。 (P8「ベビーカーの折りたたみ方」参照)
タイヤが消耗した時は	タイヤが消耗し、走行に異常を感じた時は、タイヤの交換が必要な場合があります。弊社お客様サポートセンターに連絡してください。(P20参照)

〈再利用する時〉

お気づきの点	対処方法
前の使用者がどのような使い方をしていたのかわからない時は	使用状態が不明な商品をご使用になるのはお勧めできません。
クラック(ひび割れ)や大きな傷がある時は	ご使用になれません。

保証とアフターサービスについて

〈保証について〉

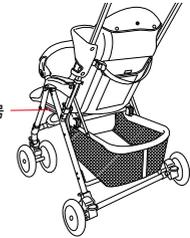
・保証期間中(お買い上げ日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。故障の箇所によっては、修理できない場合がございます。ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。(修理箇所の保証期間は1カ月です。)
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。)

〈アフターサービスについて〉

・ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号(下図参照)をご確認のうえ、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、座面裏シールの品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。

品名・品番・ロット番号
表示シール(座面裏)



アフターサービスについての連絡先

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー用品 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

受付時間: AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

保管について

・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
・上に荷物を置いたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。



注意

・日除けの変形を防ぐため、横向きに寝かせたり、上に荷物を置いたりしないでください。
・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しないでください。
・プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。

廃棄について

・お住まいの各自自治体の指示にしたがって処分してください。
・環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。

点検マニュアル

・貸し出し前、または返却後に下表の点検を実施してください。
異常が見つかった場合は、不具合時の対応を参考にしてください。

	点検箇所	点検項目	点検方法			不具合時の対応※
			動作	目視	触手	
動作確認	セーフティロック	ロック、ロック解除がスムーズに行える	動作	目視	触手	修理
		表示シールに損傷がなくマークを識別できる  	動作	目視	触手	部品交換
	ハンドルレバー	スムーズに動く	動作	目視	触手	修理
	キャストロックレバー	ロック、ロック解除がスムーズに行える	動作	目視	触手	修理
	キャスト	ロック解除時にスムーズに回転する	動作	目視	触手	潤滑油塗布
	ストッパー	ロック、ロック解除がスムーズに行える	動作	目視	触手	修理
		ロック解除時、後輪がスムーズに回転する	動作	目視	触手	修理
		ロック時、後輪がしっかりとロックされている	動作	目視	触手	修理
	肩ベルト	肩ベルトは腰ベルトにしっかりと差し込める	動作	目視	触手	修理
		長さ調節が容易に確実に行える	動作	目視	触手	修理
	腰ベルト	腰ベルトをバックルにしっかりと差し込み抜けない	動作	目視	触手	部品交換
		長さ調節が容易に確実に行える	動作	目視	触手	部品交換
	バックル	バックルと股ベルトのホックが留められている	動作	目視	触手	留め直す
		差し込んだあと、各ベルトが抜けない	動作	目視	触手	部品交換
		PRESSボタンを押すと、各ベルトが外れる	動作	目視	触手	部品交換
	フロントガード	スムーズに取り付けが可能で、抜けない	動作	目視	触手	修理
		解除ボタンを押すと、容易に外せる	動作	目視	触手	修理
	リクライニング	調節が可能	動作	目視	触手	修理
	足のせ	容易に出し入れできる	動作	目視	触手	修理
		引き出し後、固定できる	動作	目視	触手	修理
ペビーカーの開閉	スムーズに行える	動作	目視	触手	潤滑油塗布	
開閉ロック	開閉時、完全にロックされている	動作	目視	触手	修理	
車輪(前後)	スムーズに回転する	動作	目視	触手	修理	
	ガタツキ、極端な摩耗がない	動作	目視	触手	修理	
走行性	違和感(斜行、蛇行)なくペビーカーを走行できる	動作	目視	触手	修理	
異音	開閉時、走行時にキーキー音やきしみ音がない	動作	目視	触手	潤滑油塗布	
日除け(オプション)	取り付けが容易に行える	動作	目視	触手	修理	
	取り付け後は、容易に外れない	動作	目視	触手	修理	
外観確認	泥、ホコリ	スライド部や車輪に砂や泥、ホコリが付いていない	動作	目視	触手	拭き取り
	ネジ	ゆるみがない	動作	目視	触手	増し締め
	シート	確実に取り付けられている(ホックやフックが外れていない)	動作	目視	触手	取り付け直す
	フロントガードカバー	確実に取り付けられている	動作	目視	触手	取り付け直す
	各部品	変形、損傷、紛失、やぶれ、ほつれがない	動作	目視	触手	修理/部品交換

不具合時の対応※

修理 : 直ちに使用を禁止し、弊社お客様サポートセンターに連絡のうえ、点検、修理を受けてください。
部品交換 : 直ちに使用を禁止し、部品交換してください。部品交換が完了するまではペビーカーを使用しないでください。
潤滑油塗布 : 潤滑油を塗布しても不具合が改善されない場合は、弊社お客様サポートセンターに連絡のうえ、修理、点検を受けてください。